

家庭菜園相談室

今月の
テーマ

甘くて莢ごと食べられる!
スナップエンドウ



「スナック?」「スナップ?」と迷いがちな名前の付いたスナップエンドウ。正式名称は「スナップ」の方で、莢を摘み取るときに「プチッ」と小さな音がすることからその名が付いたそうです。種苗メーカーによっては、商品名として「スナック」という名称を使っています。家庭菜園では、何本か植えておくと重宝し、サヤエンドウやグリーンピースも同様の方法で栽培できます。

図1 作型目安

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
スナップエンドウ	▲	—————				●	■ ■ ■ ■		

▲ 播種 ● 追肥・支柱立て ■ 収穫

栽培の ポイント

- ・ マメ科の野菜を一度作った畑では3~4年間は豆類の栽培を休みます（連作障害対策）。
- ・ マメ科の植物は根に根粒菌が共生しているので、肥料が多過ぎると徒長してしまいます。
- ・ 春にアブラムシがつきやすいので、シルバーまたは銀線入りのマルチフィルムを用います。
- ・ 播き時が早過ぎると苗が大きくなりすぎて、寒害を受けやすくなるので注意します。

畑の準備： 植付けの2~3週間前に完熟堆肥2kg/m²、苦土石灰200g/m²をまき、深さ30cm位までよく耕します。植付けの1週間前には化成肥料(8-8-8)50g/m²を施し、よく耕しておきます。

栽植密度： 畝幅100cm、畝高10cmほどの畝を作り、シルバーマルチを張ります。
(シルバーマルチはアブラムシ防除と雑草防止のため)

種まき： 種は2条に点播します。播き幅60cm×株間30cmに深さ2cmほどの穴を掘り、種を1カ所に4~5粒ずつ播きます。種の大きさの3倍ほどの土をかぶせ、軽く手のひらで押さえます。
鳥除け及び虫除け、乾燥防止などのため、不織布で畝を覆いその上からたっぷり水をかけます。

間引き： 種まきから3週間ほどして、本葉が3~4枚になったら、1カ所あたり2本にします。生育の良くないもの、病気の疑いがあるものなどを間引きます。

霜除け・追肥： 防虫ネットをトンネル掛けし、不織布や寒冷紗で風上を覆います。
追肥は、春先、寒さが緩んで苗の成長が盛んになってきたら、化成肥料(8-8-8)30g/m²をマルチの上からバラ撒きます。

支柱立て： 蔓の先端が防虫ネットのトンネルにつかえるようになったら、トンネルを外し、支柱を立てます。支柱は垂直が良いですが、風当たりが強いところでは合掌式が良いでしょう。
支柱を立て終わったら、マス目8~10cm位のネットを張ります。巻きひげが絡みやすいように、上下・左右ピンとゆるまないように張ります。

収穫： 開花後2週間ほど経って、中のマメが大きくなり莢が十分ふくらんだら収穫です。手で引っ張ると「プチッ」と音がして簡単に収穫できます。
・ サヤエンドウを栽培する場合は、マメの粒があまり大きくないうちに収穫します。
・ グリーンピースを栽培する場合は、莢がふくらんで、表面に筋が入り黄色っぽくなったら収穫適期です。

病虫害： 【ナモグリバエ】葉に潜り込み葉肉を食害します。成虫はアブラムシ同様キラキラ光るものを嫌うので、シルバーマルチをしたり反射テープを張ったりすると良いでしょう。
【うどんこ病】うどんこ病の発生をできるだけ抑えるためには、蔓が混んできたら整枝して風通しを良くし、高温乾燥時には草勢を維持するため水を切らさないようにすると良いでしょう。